

第17回戦争遺跡保存全国シンポジウム 岡山県倉敷大会

戦争遺跡の大切さを 地域・日本・世界から考える

岡山県内最大級の戦争遺跡、亀島山地下工場のある倉敷市で、
第17回全国シンポジウムを開催します。ぜひともご参加ください。



2019 **8.17** (土)・**18** (日)・**19** (月)

水島愛あいサロン

(=環境交流スクエア) 水島臨海鉄道・水島駅前

参加費：前売 500 円、当日 1000 円



17日 (土) 全体会 13:00~16:30 (受付、12:00~)

●開会セレモニー

「戦争と民話」：立石憲利さん (岡山人民俗学会名誉理事長・亀島山地下工場を語りつぐ会代表)

●記念講演「ドイツの戦争遺跡—犠牲者に想いを馳せて」

⇒裏面

講師：ヴァーグナーさん (V2ロケット地下工場のあるミッテルbau=ドーラ強制収容所記念館 館長)

●基調報告「戦争遺跡保存の現状と課題 2013」：菊池実さん (戦争遺跡保存全国ネットワーク)

地域報告「亀島山地下工場の保存と活用をめざして」：村田秀石さん (亀島山地下工場を語りつぐ会)

全国各地からの報告

18日 (日) 分科会 9:15~16:05 (受付、9:00~)

●第1分科会 「保存運動の現状と課題」

●第2分科会 「調査の方法と整備技術」

●第3分科会 「平和博物館と次世代への継承」

19日 (月) 現地見学会 9:00~16:00 (別途申し込みが必要。参加費 4500 円・半日 3000 円)

①倉敷1日コース・半日コース (水島航空機製作所関連遺跡)

②倉敷・岡山コース (水島航空機製作所関連遺跡・第17師団跡)

主催：戦争遺跡保存全国ネットワーク

第17回戦争遺跡保存全国シンポジウム倉敷大会実行委員会

後援：岡山県、岡山県教育委員会、倉敷市、倉敷市教育委員会、倉敷芸術科学大学、山陽新聞、朝日新聞、
毎日新聞、読売新聞、OHK岡山放送、倉敷ケーブルテレビ、

助成：公益財団法人福武教育文化振興財団、サンエイ JUMBO グループ社会貢献福祉基金

問い合わせ先：090-2800-5118 (和泉)

記念講演

ドイツの戦争遺跡…犠牲者に想いを馳せて

日本とともに第二次世界大戦の主要な枢軸国であったドイツから講師を招き、ドイツにおける戦争遺跡の保存・活用状況を知るとともに、戦争遺跡の普遍的な価値を相互に確認し共有したいと考えています。

岡山県倉敷市には軍用機製作所の総延長約2000メートルにもおよぶ地下工場跡があります。そのため特にドイツの秘密兵器 V2ロケット製造地下工場と犠牲者追悼に関わる講師をお招きします。

講師：ヴァーグナーさんの紹介

ミッテルバウ=ドーラ強制収容所記念館の館長で、この強制収容所の歴史の中心的な研究者です。記念館の展示は、V2ロケット地下工場の建設と稼働のために強制収容された囚人（約6万人）の苛酷な強制労働と大量死（2万人以上）の歴史を中心に構成されています。ヴァーグナー氏の著作の表題も『死の生産。ミッテルバウ=ドーラ強制収容所』というもの。強制収容所跡やV2ロケット地下工場跡の保存活用にも携わっておられます。



V2ロケット製造地下工場の入口

ドイツの秘密兵器 V2ロケットを生産する地下軍需工場のために設置された特別の収容所では、囚人がブーヘンヴァルト収容所から移送され、地下工場の建設とロケットの生産に従事させられました(収容者約6万人)。その際の過酷な強制労働で2万人以上の囚人が死亡しました。

V2ロケットはロンドンやアントワープへの無差別爆撃に使用され、多くの被害を与えました。その設計者、ブラウンは後に米アポロ計画の推進者となっています。(<http://www.katch.ne.jp/~wts1920/>)



ミッテルバウ・ドーラ強制収容所 追悼記念館



←V2ロケット先端

(ミュンヘン・ドイツ博物館)



ロケット爆撃の被害現場

(アントワープ平和センター展示写真)